

更に子どもが様々な人と出会い
関わり、心を通わせながら成長して
いくために、乳幼児にふさわしい生
活の場を豊につくりあげていく役割、
責任を果たし、その役割が發揮され
るよう、専門的知識、技術及び判
断をもつて保育に努めてまいります。
また、家庭との緊密な連携の下に、
こどもの状況や発達過程を踏まえ、
保護者の意向を受け止めその援助に
当たります。

更に危機管理意識を職員間で共有
し、一人ひとりの子どもが、健康で
安全に過ごせるよう、安全環境を整

■地域福祉

福祉灯油助成事業につきましては、在宅で生活する低所得者の高齢者世帯等への冬季生活支援として、本年度におきましても実施し、対象世帯の生活安定と福祉の推進を図つてまいります。また、本年度に消費税率が引き上げられることによる臨時的措置として、低所得者の負担を軽減するため、臨時福祉給付金給付事業を早期に実施いたします。

この中で、

る俱知安町清掃センター焼却施設の供用期限は、平成二十七年三月までとなつてはいることから、羊蹄山麓七ヶ町村で構成する羊蹄山麓地域廃棄物広域処理連絡協議会において、新たに可燃ごみの処理方法について協議を進め、場所は「俱知安町」、処理方法は「固形燃料化方式」、処理事業方式は「民間委託方式」との決定を受け、平成二十五年度に羊蹄山

環境問題全般、ごみ処理施設整備に

環境保全事業としては、エキノコツクス症の対策としてキツネの虫下し餌であるベイトを撒布する事業を行つたあと、平成二十年度から継続して実施してまいりました。これにより、キツネの糞から把握したエキノコツクス感染率は、事前調査では四十五・九パーセントであつたも

近年、児童虐待を含む、養育基盤の脆弱化が社会的課題となつております。本町においても、発生予防と発生した場合の速やかな対応を進めるとため、要保護児童対策地域協議会の活動の推進を図り、関係機関との連携に努めてまいります。

学童保育所「なかよしクラブ」は、放課後の子供達に安全で豊かな生活と健やかな発達促進のため、父母等との連携を密にするとともに協力し、児童の健全育成に努めてまいります。

保育園運営に関しては、養護及び教育を一体的に行うという保育所における保育の特性を見かしつつ、常に保育の内容や方法を見直し、その改善・向上を図るよう努めてまいります。

故防止に努めてまいります。子育て支援センターは、親同士の出会いと交流の場であり、子どもたちが自由に遊び関わる場でもあります。親は親で支え合い、子どもは子どもで育みあいます。子どもの育ちも子育ても、家庭の中で完結する場合ではなく、様々な人たちとの関わりを通して促されています。子どもも同士、親同士、更には、地域の様々な人たちと子育て家庭をつなぐ「架け橋」の役割を担つていけるよう努めてまいります。

更に親子の成長を見守る事ができる環境を整え、親子が豊かに生活できる環境をつくりだすことにつなげてまいります。また、必要に応じて他機関との連携を図りながらの支援

燃ごみは、但

を地域で守り、支えることが求められています。とりわけ高齢者や障がい者の権利擁護の充実や、適切なサービス利用の促進が求められており、社会福祉協議会など関係機関と連携し、町民一人ひとりに支援が届くよう地域福祉の充実に努めます。

も含め協議を進めてまいります。

業務契約が締結され、平成二十七年三月より可燃ごみの固形燃料化処理施設の供用開始の運びとなります。

なお、平成二十七年度以降の「羊蹄山麓地域廃棄物広域処理基本計画」策定業務を引き続き進めると共に、新たなごみ処理の開始に向けて分別に関するは羊蹄山麓が統一した解りやすい「分別概要版」などの作成や、地域への説明会などの実施等を進めます。

また、四町村で運営を進めていた真狩リサイクルセンターの生ごみ処理施設につきましては、一部処理機の破損による事故と施設設置地域との協議により、施設の継続運営が出来ないため今後、新たな施設地検討も含め協議を進めてまいります。

昨年の「ふきだし公園」の入り込み状況は、約六十六万人となつてお
り、一昨年と比較すると三パーセン
ト程度（約二万人）ではありますが
増加しております。ここ数年で東南
アジアからの旅行者が急増している
ことが、観光客数増加につながつた
ものと考えられます。

このように、本町の重要な観光施
設である「ふきだし公園」の整備に
つきましては、ふきだし莊跡地の整
備をはじめ、安全対策等の各種工事
を行つてまいります。さらには、今
後ふきだし周辺の整備を具体的に進
めるための基本計画も策定してまい
ります。

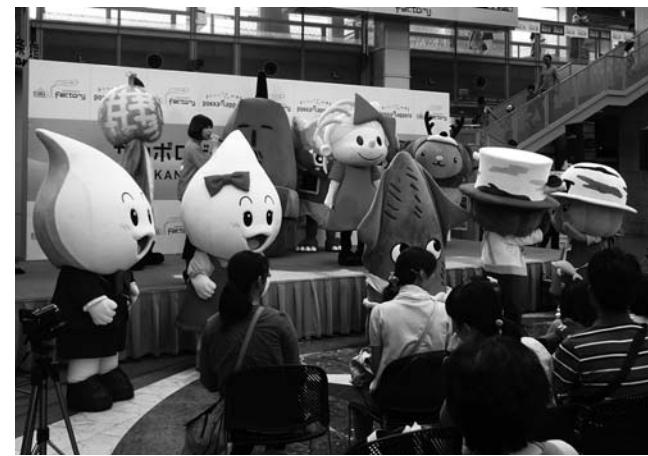
全国各地では、イメージキャラク
ターを活用したPR活動が話題と

■觀光振興

本町を含む7町村で整備した「よう
り一層活用するとともに、本町にお
いても消費者行政に積極的に取り組
んでまいります。

このほか、勤労者の生活安定及び
向上を図るため関係機関と連携し、
教育資金 生活資金を低利で融資す
る勤労者福利厚生資金融資制度も、
引き続き実施してまいります。

なっております。本町においても観光協会と連携しながらイメージキャラクター「ゆうくん・すいちゃん」を活用し、町内イベントのみならず札幌市や丸亀市など国内外でのPR活動を行ってまいります。



本年十二月まで、北海道日本ハム

本町と丸亀市との歴史的なつながりを学習するとともに、丸亀市の子どもと交流を深めてまいります。

本町には、「羊蹄山と農村風景」、「京極のふきだし湧水」という全国に誇れる地域資源があり、この地域資源を後世に残すため「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。加盟から五年が経過しましたが、今後も景観維持や清掃活動といった美しい村づくりの取り組みを進めるとともに、地域資源を守ることを目的とした景観条例の制定に努めてまいり

住民福祉・健康推進関係

すが受託している指定管理者は、施設の適切な管理運営と積極的な営業展開が図られることを期待しております。

ふるさとまつり・しゃっこいまつりにつきましては、実行委員会の運営で開催されております。特に「しゃっこいまつり」は二十五回の節目の年となっていることから、町民皆さんの積極的な参加のもと、活気に満ちあふれた楽しめるまつりとなりますよう願っております。

業務契約が締結され、平成二十七年三月より可燃ごみの固形燃料化処理施設の供用開始の運びとなります。

なお、平成二十七年度以降の「羊蹄山麓地域廃棄物広域処理基本計画」策定業務を引き続き進めると共に、新たなごみ処理の開始に向けて分別に関しては羊蹄山麓が統一した解りやすい「分別概要版」などの作成や、地域への説明会などの実施等を進めます。

また、四町村で運営を進めていた真狩リサイクルセンターの生ごみ処理施設につきましては、一部処理機の破損による事故と施設設置地域との協議により、施設の継続運営が出来ないため今後、新たな施設地検討も含め協議を進めてまいります。

今後も関係各町村と連携の上、ごみ処理における資源化・減量化及び地球環境保全をめぐる社会情勢等を踏まえ、広域でのごみ処理施設整備に向けて取り組んでまいります。

環境保全事業としては、エキノコッククス症の対策としてキツネの虫下し餌であるベイトを撒布する事業を計画し、平成十九年度の事前調査を行つたあと、平成二十年度から継続して実施してまいりました。これにより、キツネの糞から把握したエキノコッククス感染率は、事前調査では四十五・九パーセントであつたも

ファイターズの武田久選手、河野秀数選手が本町の応援大使に就任しました。応援大使の両選手には、十一月下旬頃に本町を訪問する予定となっていますが、このほかにも札幌ドームを中心に色々な場面で本町のPRをしていただくこととなっています。短い期間とはなりますが、北海道日本ハムファイターズと連携しながらPR活動を行つてまいります。

京極ふれあい交流センター「京極温泉」と「名水プラザ」につきましては、指定管理制度を適用したなかで管理運営がなされておりますが、利用者の減少・運営経費の高騰などにより厳しい経営状況になつております。町としても施設の改修や情報の共有など協力体制をとつております。

■児童福祉 少子化が進む今日、安心して子どもを生み育て、社会の一員として成長していくことができるよう、地域の子育て家庭への支援を行うと共に子どもが健やかに成長できる環境づくりを目指してまいります。